# 日本セーフティプロモーション学会誌の創刊にあたり

　昨年９月、多くの皆様のご賛同を得て日本セーフティプロモーション学会が設立されました。ここに、厚く御礼申し上げます。さて、学会の担うべきいくつかの活動の中で、中核となる学会誌の発刊をここにお知らせせいたしたく、創刊号としてお届けいたします。

　本学会はわが国におけるセーフティプロモーションおよびセーフコミュニティに関する最初の学会であります。地域において暮らすあらゆる年代の人々やその環境を対象とし、事故や傷害の防止、犯罪被害の防止、自殺予防などを含む幅広い内容を取り上げ、研究発表や討論を行う場を提供します。また、世界的に進められているセーフコミュニティを日本でも展開するために交流する場を提供することも意図されています。すなわち、科学的根拠に基づくセーフティプロモーションの研究を推進することから､それを生活の場において組織的に実践すること（これが｢セーフコミュニティ」に相当）までを視野に入れています。私たちは、この学会を発足させるための準備の段階で、研究者、行政官、企業経営者、企業従業員、学生、大学院生、教員、地域住民、ボランティア、その他様々な人々が知恵を絞り、意見を交換しました。関係する領域としても、保健、医療、福祉、看護、工学、教育、法律、経済、警察行政、消防、地域行政など多岐にわたっています。スウェーデン、ノルウェーをはじめ世界各地を実際に訪れ、セーフティプロモーションの考え方やセーフコミュニティの実践について知り、触発された複数の人々が、日本でも何かできないだろうかという問いを発し、約２年前に話し合いをもったことから始まりました。名称をどうするかについても、学会なのか、研究会なのか、それとも他の名称にするのか等、沢山の意見が出る中、次第に集約され、最終的には日本セーフティプロモーション学会とし、そこにセーフコミュニティ交流センターという名称の機能を包含することにしてはどうかという方向に意見が集約していきました。それ故､｢日本セーフティプロモーション学会─日本セーフコミュニティネットワーク」という表現をするのです。

　学会においては定期的刊行物としての雑誌は重要な位置を占めています。ここに掲載される研究論文、総説、実践報告等の文書は本学会の活動の証であると共に、日本におけるセーフティプロモーション研究の牽引車となることでしょう。今後、本学会がどのように育つのかを見極めるバロメーターの役割も果たします。どうか多くの会員の皆様の積極的な投稿により、本誌の水準を向上させ維持していただきたいと思います。

2008年３月31日

理事長　　衞　藤　　　隆